

2017年3月31日

久留米大学医学部医学教育研究センター

<https://csme.kurume-u.ac.jp/>

神代龍吉、安達洋祐、柏木孝仁、北川周子

## 1. 年報の編集

この1年の活動をまとめた医学教育研究センター年報を作成した。PDCA サイクルに則った事業評価をはじめ、今年度の総括を記載した

## 2. 電子シラバス

3年生に導入する電子シラバスを構築した。冊子体のシラバスに記載した以外の予習教材、英単語等を掲載し、さらにレポート受付け、教員評価の機能も併せ持つ。

## 3. 医師国家試験の自己採点記録の収集

まだ今のところ数件の報告にとどまっている。

## 4. 卒業試験の分析

今年度の卒業試験（総合試験）は近年の国試問題の難化と国試まで学生の緊張感を維持する目的で、いわゆる研修医レベルの問題を含む試験となった。この試験から国試の合否を予測する式を Logistic 解析で引き出そうとしたところ、去年度までの卒業試験とは成績分布が異なっていることが分かり、的中率の高い予測式を導き出せなかった。それで、難しい問題として意図された問題を除外して成績分布を表し、これをもとに国試との相関を出すために、各講座に難しい問題を教えてもらうなどの協力体制をとった。

## 5. 学外活動

・3月3日（金）「慈恵医大の参加型臨床実習について」と題する医学教育セミナーに神代が参加した。これは文科省「基礎と臨床を両軸とした医学教育改革におけるグローバルな医師養成事業」の成果報告会であり、学外の教育病院（12施設）と連携したクラークシップで年間約1,000万円をかけた事業である。

・3月16日（木）安達が共用試験機構第3回臨時総会へ出席した。Post-CC OSCE の実施形態案が示された。2018年度までにトライアル40校程度、2019年度に全国でトライアル、2020年から正式導入の予定。

・3月19日（日）から22日（水）にかけての5年生春合宿（太宰府市）に引率として安達、柏木が1泊2日の日程で参加した。

## 6. その他

北川周子氏が3月23日（木）で退職するので送別会を開催し、その席に4月から交代する井上幸子氏も参加して歓送迎会とした。なお井上氏は月～金のフルタイム勤務である。